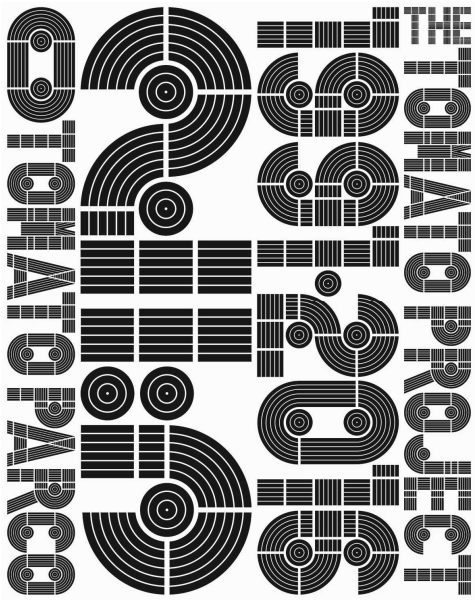
渋谷パルコで世界的デザイン集団「TOMATO」結成25周年記念大型企画展の開催が決定！

THE TOMATO PROJECT 25TH ANNIVERSARY EXHIBITION “O”



謹啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。この度、私どもパルコは２０１６年３月、世界的に活躍するデザイン集団「Tomato」の結成２５周年を記念したプロジェクト「THE TOMATO PROJECT 25TH ANNIVERSARY EXHIBITION “O”」を渋谷パルコを中心に、渋谷の街とも連携し開催させていただく運びとなりました。
つきましては、貴社媒体におかれまして、ご取材・ご掲載いただきたくご検討のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

【開催基本情報】
パルコミュージアムを中心に、パルコ館内・館外、渋谷の街を使い、アート展示、インスタレーションを行います。

タイトル	THE TOMATO PROJECT 25TH ANNIVERSARY EXHIBITION “O”
メイン会場	パルコミュージアム（PART1・3F）、ギャラリーＸ（PART1・B1F）
期　間	2016年3月12日（土）― 4月3日（日）
入場料	一般500円・学生400円・小学生以下無料
時　間	10:00～21:00
主　催	パルコ
企画制作	TOMATO 、THE TOMATO PROJECT実行委員会
後　援	ブリティッシュ・カウンシル、他
特別協力	渋谷のラジオ
Ｈ　Ｐ	www.parco-art.com　※詳細情報などは更新され次第、本ＨＰにて公開致します

【本件に関するお問い合わせ】THE TOMATO PROJECT 実行委員会

株式会社パルコ メディアコミュニケーション部　Tel： 03-3477-5713　Fax： 03-5489-7481
〒150-0045　東京都渋谷区神泉町8-16 渋谷ファーストプレイス
担当：高橋 賢太郎　taka-ken@parco.jp

株式会社バウコミュニケーションズ　TEL：03-3668-6700　FAX：03-3668-6660
〒103-0023東京都中央区日本橋本町4-11-5
担当：梶原　毅　t-kajihara@bau-com.co.jp　西山　琴浩　koto-nishiyama@bau-com.co.jp

PARCO

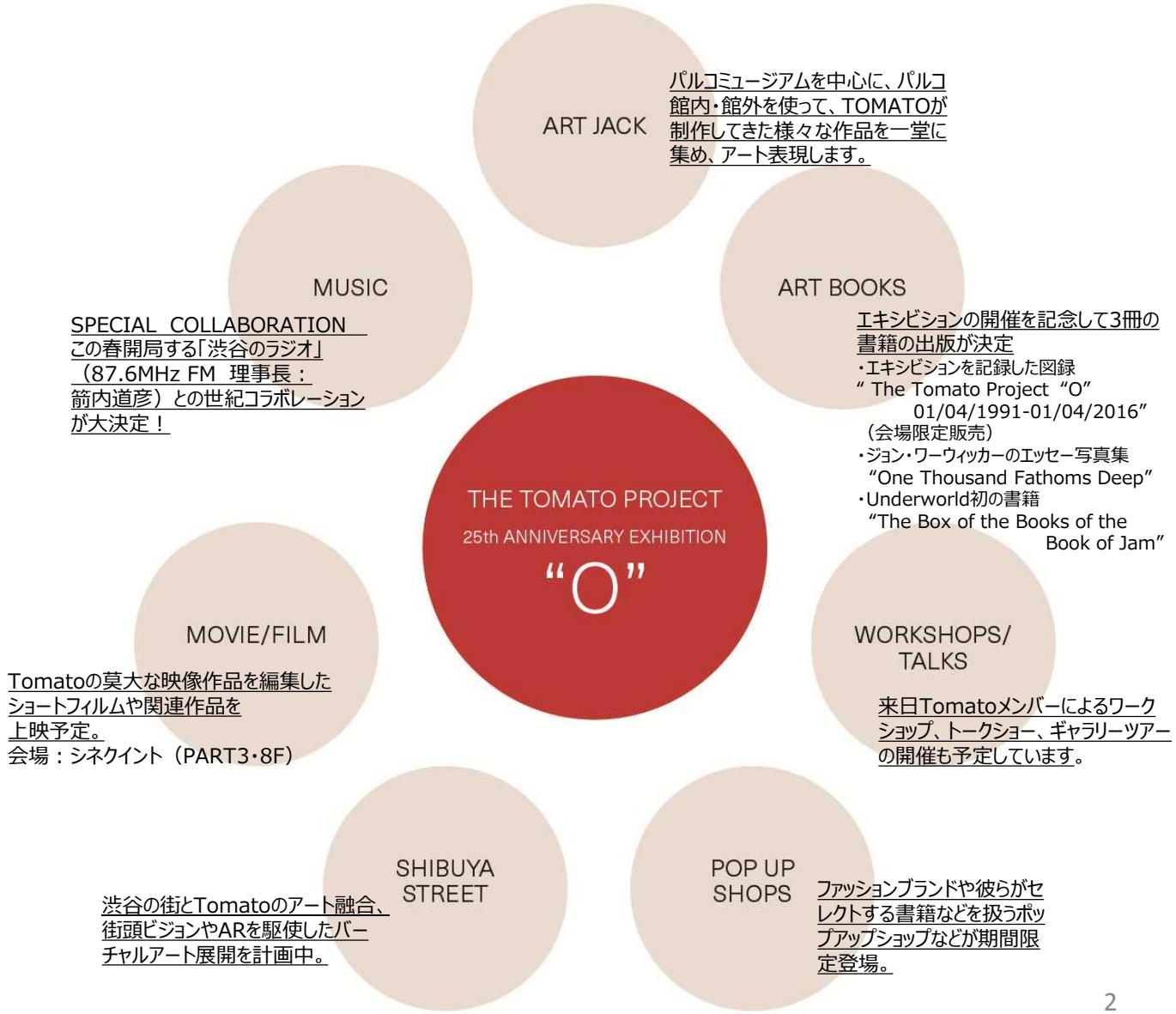
2016/1/29

プロジェクトコンテンツマップ（概要）
Tomato and Japan and Tokyo and Shibuya and Parco and …

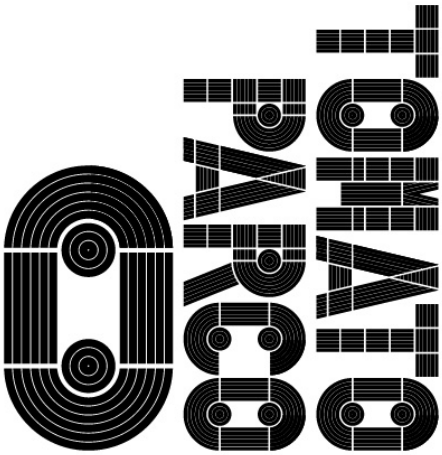
＜展開コンテンツ＞
結成２５周年を記念し、初のレトロスペクティブ・マルチメディア・エキシビションとして渋谷パルコ全館と渋谷の街とも連動し、Tomatoが作るクリエイティブな世界への冒険へ導きます。

メイン会場　：　パルコミュージアム（PART1・3F）、ギャラリーＸ（PART1・B1F）
期間　　：　2016年3月12日（土）― 4月3日（日）
入場料　　：　一般500円・学生400円・小学生以下無料
営業時間　：　10時～21時
その他会場　：　シネクイント（PART3・8F）
　　ステアケース（階段）など館内複数個所の特設ギャラリーなど

※入場は閉場の30分前まで、最終日は18時閉場
※<PARCOカード・クラスＳ>ご提示で入場無料
　<PARCOカード>ご提示で入場料半額
※その他会場はシネクイントを除き無料



［開催内容の詳細はプレスリリース及びHP（www.parco-art.com）にて随時お知らせ致します。］



“O”（オー）
2016年3月。Parcoは世界的に活躍するデザイン集団Tomato（http://tomato.co.uk/）の結成２５周年を記念し、初のレトロスペクティブ・マルチメディア・エキシビション「THE TOMATO PROJECT 25TH ANNIVERSARY EXHIBITION “O”」を東京・渋谷から世界に向けて開催します。

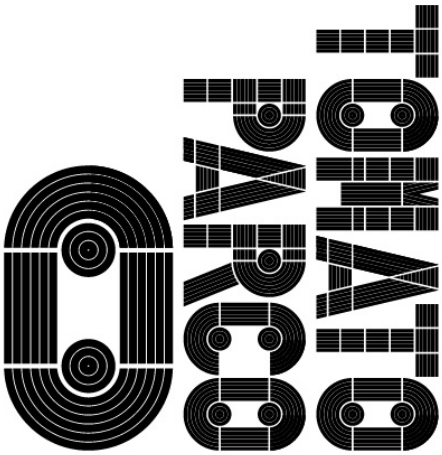
Tomatoは, 1991年にロンドンで発足し、先駆者として知られるアーティスト、ミュージシャン、デザイナーとクリエイティブ思想から構成されています。Tomatoはデジタル世紀の先導者としてグラフィック、バーチャルメディア/デザインの最先端を常に走り続けてきました。現在Tomatoのメンバーは、ロンドン、メルボルン、東京、カッセル（ドイツ）と、世界中の都市に分散し、世界中から新たな表現作品を作り続けています。

Tomatoはメディアデザイン、映像、ブランディング＆CI、ファッションデザイン、近代彫刻＆都市建築設計、実験的コンピューターグラフィック、ファインアートなどの分野で活躍しています。タイポグラファー/アーティストとして知られ、外国人として初めて東京タイプディレクターズクラブの会員にもなったJohn Warwicker、Work Not Workのファッションブランドも立ち上げているSimon Taylorなどが在籍。音楽の分野ではTomatoの創立メンバーでもあるKarl HydeとRick Smithの２人が作る世界中に影響力のあるエレクトリック・デュオUnderworldも在籍し、2012年ロンドンオリンピック開会式の音楽監督を努めたことが記憶に新しい。

Tomatoは、彼らの表現活動において日本文化から影響を受けることが多く、メンバーは日本に訪れる際の拠点として常に東京・渋谷を選択し滞在します。それは渋谷という街が彼らにおいて常に新しい発見と刺激を与えてくれるからです。Tomatoは1996年に公開された映画『トレインスポッティング』のアートワークと音楽で世界的に一躍脚光を浴びることになりますが、その『トレインスポッティング』にいち早く注目し、日本公開を行ったのがParcoであり、渋谷で公開されました。

こうしてTomatoとParcoとShibuya・Tokyoとの出会いが1つの大きな円として繋がります。
長い時を経てTomatoとParcoが再び邂逅します。

渋谷の未来への目印としたい――
そんな想いを込め、Tomato and Japan and Tokyo and Shibuya and Parco and .....
渋谷と、東京と、日本へ、これまでの想いと、これからの想いを、渋谷という街へ、街を訪れる人たちへ、プレゼントとして贈ります。



本プロジェクトは、“O”（オー）と題されます。“O”は, エレメント。
過去と今と未来。始まりと終わりがなく永遠に続くことを意味します。TomatoとParcoの言葉の中にも存在する“O”。ここには何か必然性な出会いを感じます。“O”は誰かと誰かの出会いも意味します。また、日本の文化において“O”は、“輪”とも解釈され、更に神秘的に関係性を深くすることが解ります。輪は、グラフィックでは円であり、人々の繋がりを示す輪でもあります。私達と、そこを訪れる人々とのシンプルなジェスチャーでもあり、そこからまた新しい表現が生まれます。そんな想いを踏まえて“O”は動的な「対話」であり、これらの要素すべてのセレブレーションでもあります。

本展は、Tomatoが創作してきた様々な作品を一堂に展示します。結成から25年間に渡り作られてきた商業作品や自身たちの作品、チーム内で実験的に制作された作品も展示されます。また、一般には初公開として、TomatoがUnderworldの為に制作したレコードジャケット、グラフィック、映像、アートワークなども展示されます。

このプロジェクトは、渋谷パルコ「PARCO MUSEUM」、「GALLERY X」、そして階段などを活用したインスタレーションギャラリーを中心に渋谷パルコ全館を使って展示され、また渋谷の街も巻き込み、様々なインスタレーションでTomatoが作るクリエイティブな世界への冒険へ導きます。『Tomato』がどのような道をたどってきたのか、今何処にいて、何処に向かっているのかを示す総合的なプロジェクトとなります。

その他に、TomatoプロデュースのPop-upショップ（ファッションブランドや彼らがセレクトする書籍など）の限定オープンなど、様々なサプライズが予定されています。また、エキシビションの開催を記念した３冊の書籍の出版も決定しました。エキシビションを記録した会場限定販売の図録”THE TOMATO PROJECT “O”” 、ジョン・ワーウィッカーのエッセー写真集“One Thousand Fathoms Deep”とUnderworld初の書籍“The Box of the Books of the Book of Jam”が発売されます。Tomatoメンバーによるトークショーやワークショップの開催も予定されています。

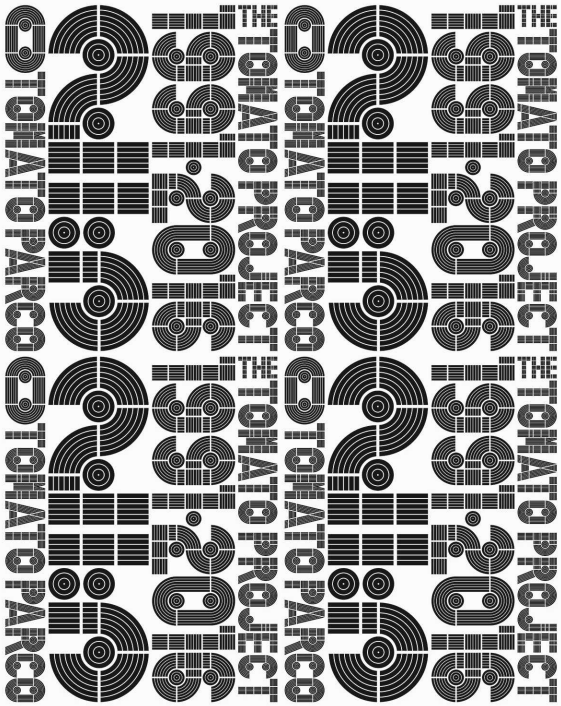
さらに、渋谷の街との仕掛けでは、この春開局をする「渋谷のラジオ」とコラボレーションが決定、渋谷を訪れる方々へ、サプライズな体験をプレゼントします。また、AR技術を駆使してストリートにもバーチャルなアートを展開し、パルコ館内や街頭の大型ビジョンでは映像作品も放映予定です。

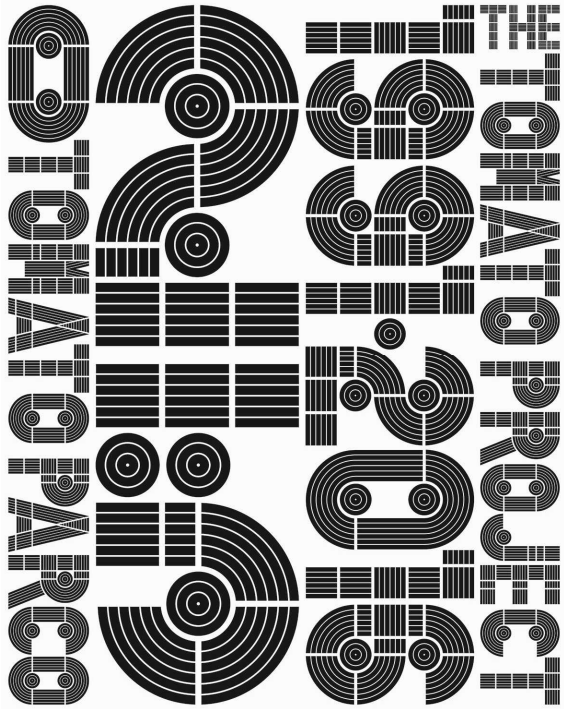
- Tomato歴代メンバー -

Steve Baker, Jeremy Barrett, Joel Baumann, Dirk van Dooren, Tota Hasegawa, Michael Horsham, Karl Hyde(Underworld),Jason Kedgley, Dylan Kendle, Anthony Rogers, Gregory Rood, Tomas Roope, Rick Smith(Underworld), Simon Taylor,John Warwicker, Graham Wood.

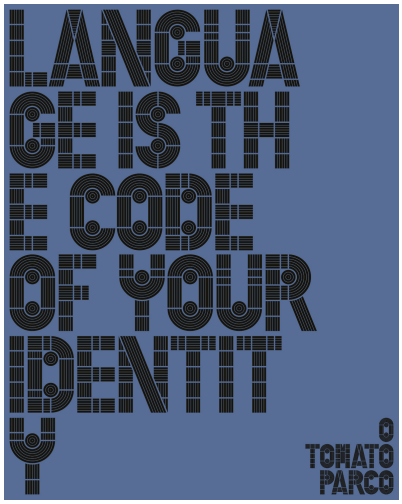
［＊開催内容の詳細はプレスリリース及び HP（www.parco-art.com）にて随時お知らせ致します。］

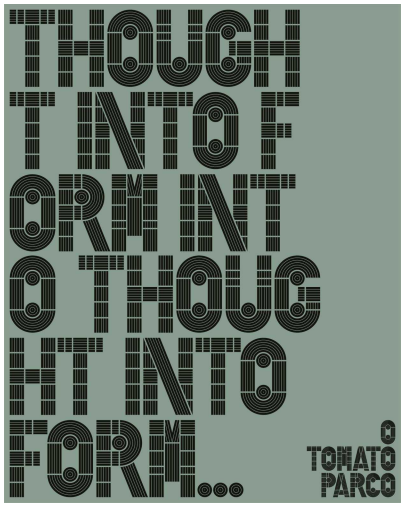
＜メディア掲載用素材／タイトルビジュアル＞

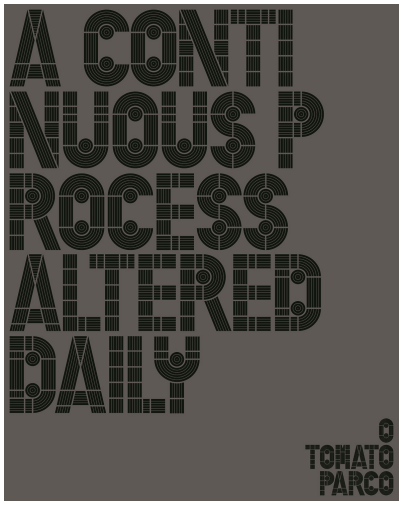


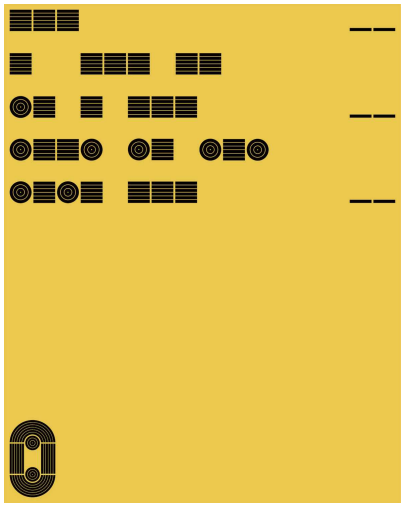


＜メディア掲載用　素材集／メッセージシリーズポスター一部＞



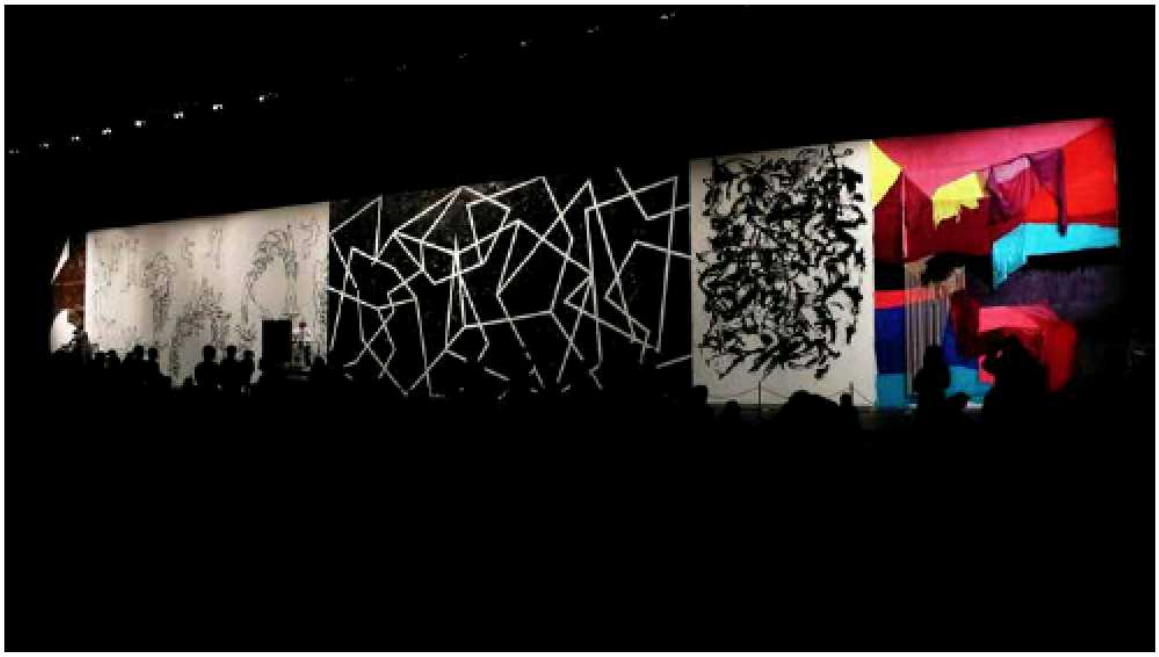






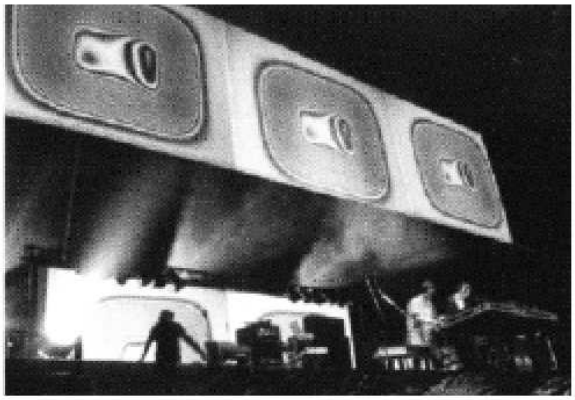
＜Tomato 作品紹介＞

Tomato Work References

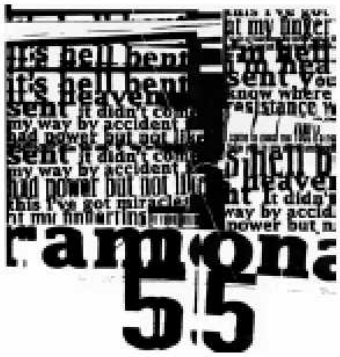


Live painting. Oblivion Ball, Makuhari Messe, Tokyo, 2007. Underworld/Tomato.

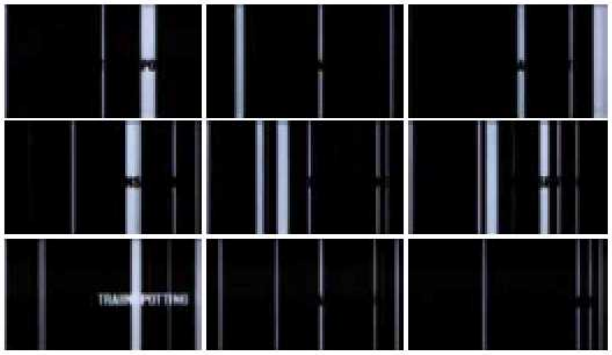
Branding. Alberto Aspesi. Milan. Branding/Advertising, 2006.



Underworld, Tomato live graphics.



Record Cover. Ramona 55. 1993.

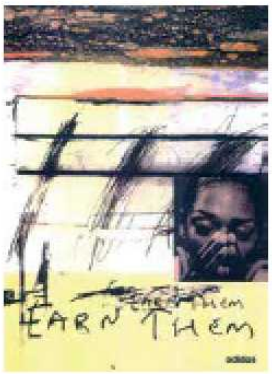


Film Titles. Trainspotting. 1996.

Tomato Work References

TV Asahi. Branding (including sound responsive idents). Japan. 2002.

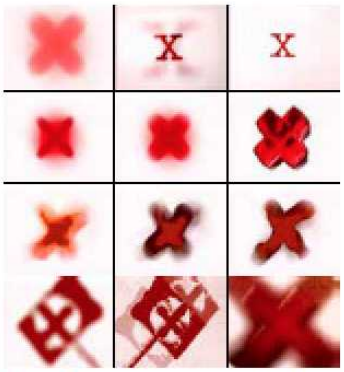
Tune-Up. Urban Action, UK/Japan, 1993.



Earn Them, Adidas, Print Campaign. 2002.

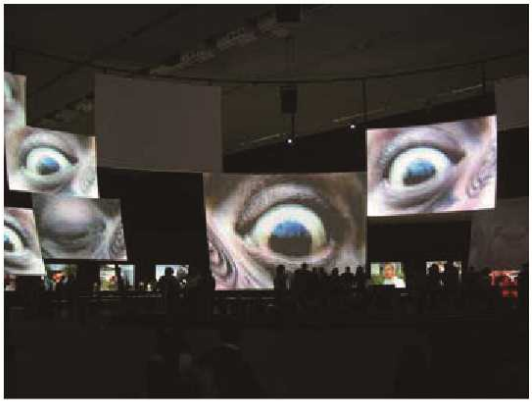
mmm... Skyscraper, I Love You. Book. 1995.

Work not Work. Fashion design. Japan. 2014.



American Red Cross. TV commercial. USA. 1995.

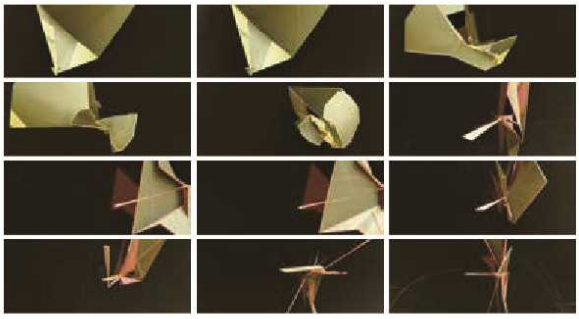
Tomato Work References



Forum. Film Installation. Spain. 2006.

Oblivion with Bells, Underworld. Record Cover. UK. 2007.

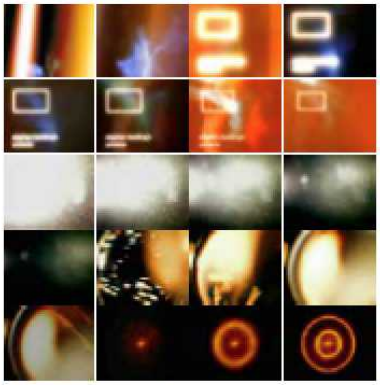
Le Mer, Live Drawing. Japan. 2010.



Hamburg Hotel, Underworld. Sound responsive Video. UK. 2010.

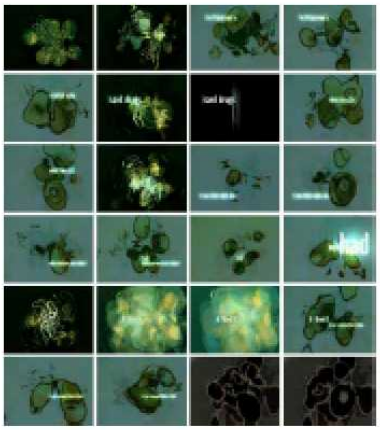
Karl Hyde, What's going on in your Head when you're Dancing?
Painting, Drawing and Sculpture Installation. Japan. 2010.

Tomato Work References



Brief History of Time. TV Programme Titles. UK. 2006.

London <=> Tokyo. Text, Sound, Film Installation. Japan. 1997.



Nao Hope. TV Commercial. BBC. UK. 1995.

Carlter's Union, Work not Work, Fashion collection, design. Japan. 2015.

Live Text, Underworld. UK. 2015.